

令和3年度 投資事業評価調書（継続：再評価〔第2回〕）

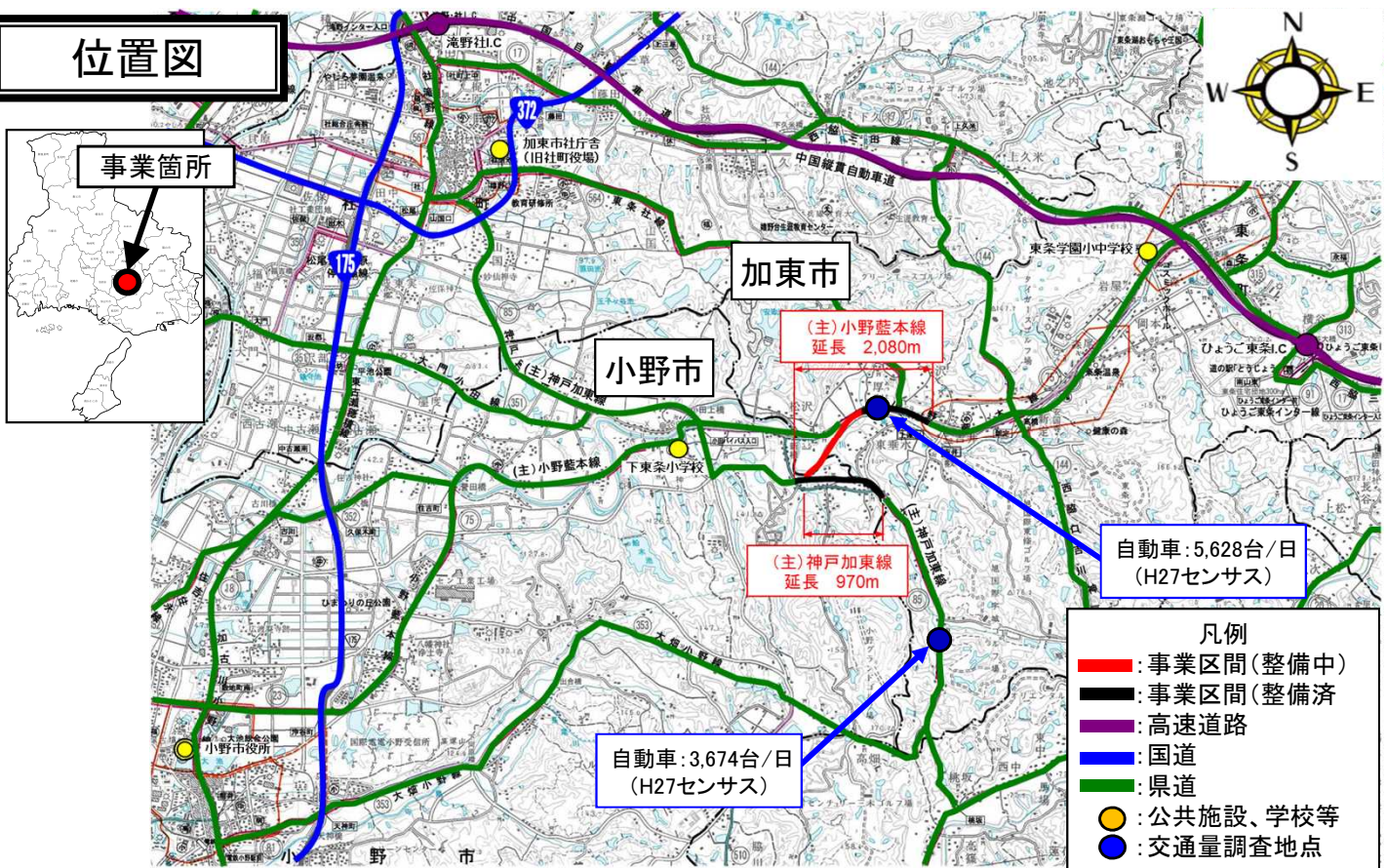
部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 田中 秀典 (県道班長 高田 隆史)	内線	4362 (4376)	
事業種目	道路	新規評価年度	平成18(2006)年度	現計画	前回評価時点	
事業名	道路事業 主要地方道 おのあimoto 小野藍本線 こうべかとう 神戸加東線	事業採択年度	平成19(2007)年度	総事業費	21億円	
		着工年度	平成19(2007)年度	内用地補償費	10億円	
		再評価年度	平成28(2016)年度	完成予定年度	令和6 (2024)年度	平成31 (2019)年度
				※R1年度公共事業審査会でR3への延伸報告済		
事業区間	おのしいけだちよう かとうしあつとし おおはた 小野市池田町～加東市厚利、大畑			進捗率 (用補進捗率)	91% (99%)	57% (94%)
				残事業費	2億円	9億円
事業の目的				事業内容 ( ) 前回評価時点		
<p>小野藍本線は、国道175号(小野市)と北摂地域を結び、神戸加東線は、加東市の中心部と神戸市を結ぶ北播磨地域の幹線道路である。</p> <p>○安全で円滑な交通の確保 幅員狭小な現道をバイパス及び現道拡幅することにより、安全で円滑な交通を確保する。</p> <p>○安全な歩行者通行の確保 歩道整備により、通学児童等の安全な通行を確保する。</p> <p>○地域間の交流・連携の促進 北播磨地域と北摂地域を結ぶ小野藍本線と北播磨地域と神戸市を結ぶ神戸加東線を整備することにより、地域間の交流・連携を促進する。</p>				<p>【延長】(全体) 3,050m (主)小野藍本線 2,080m(内整備済1,020m) (主)神戸加東線 970m(H25.4 供用済)</p> <p>【構造規格】第3種第3級</p> <p>【計画幅員】2車線 片側歩道2.5m 車道6.0m [全幅10.0m]</p> <p>【計画交通量】(主)小野藍本線 10,900台/日[H42 予測] (8,400台/日[H42 予測])</p> <p>【現況交通量】 自動車 5,628台/日[H27 センサ] (5,751台/日[H22 センサ])</p> <p>【負担割合】国55%、県45%</p>		
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<p>すでに供用開始した神戸加東線では、交通量が約2割増加(H22センサ:3,132台→H27センサ3,674台)しており、当事業の必要性が増している。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 用地買収において、価格の開きや相続問題の解決で、交渉に時間を要していることから、完了予定年度を令和6年度に変更する。</p>					
進捗状況	<p>② 進捗率は事業費ベースで91%、用地取得で99%(令和3年度末予定)</p> <p>②平成25年4月に神戸加東線、平成31年3月に小野藍本線現道拡幅部(L=1,020m)を供用した。</p> <p>③令和元年度に東条川を渡る橋梁(松沢橋)に着手しており、今年度より上部工の施工を行う。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
審査会意見及び 対応方針 (H28年度再評価)	【審査会意見】継続妥当 特になし		【対応方針】 —			
(1)必要性	<p>①小野藍本線は、幅員狭小で大型車の離合が困難であるため、本バイパス等の整備により、円滑な交通を確保する。</p> <p>②小野藍本線路肩も狭く危険な状態であるため、歩道を設置し歩行者の安全な通行を確保する。</p> <p>③北播磨地域と北摂地域を結ぶ小野藍本線と北播磨地域と神戸市を結ぶ神戸加東線を整備し、地域の交流・連携強化を促進する。加東市と小野市は、ゴミ処理場や斎場を事務組合により共同運営しており、本事業により2市の連携強化を図る。</p>					
(2)有効性 ・効率性 (執行環境状況)	<p>①費用便益比B/C=1.8(全体)(前回評価時点B/C=1.9)、B/C=3.6(残事業)</p> <p>②事業完了後の現道の管理引継について、小野市、加東市と協議が整っている。</p> <p>③地元からは、安全で円滑な交通確保の観点から、早期供用の要望の声強い。</p>					
(3)環境適合性	<p>①通過交通をバイパスに転換させることにより、大型車等による交通騒音や排気ガスなどの沿道環境が改善される。</p> <p>②歩道舗装には、雨水が地中に浸透する透水性舗装を採用し、地下水涵養を図る。</p>					
(4)優先性	地域の防災道路強靱化プランに位置づけられており、災害に強い強靱な県土づくりを進める上で早期整備が必要である。					
再評価の結果	継続	左の理由	事業の必要性は事業採択時と変わっておらず、残工区の早期供用を望む地元の声強いことから、継続して事業を実施する必要がある。			

事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第2回〕）

事業名	道路事業	路線・河川名	主要地方道 小野藍本線 主要地方道 神戸加東線
<p> <b>(主)小野藍本線 延長 2,080m</b>  <b>(主)神戸加東線 延長 970m</b>  <b>松沢橋 (仮称)</b> </p> <p> <b>凡例</b>  <span style="color:red">■</span> : 事業区間  <span style="color:black">■</span> : 改良済(事業区間)  <span style="color:green">■</span> : 県道                 </p>			
事業進捗状況・予定		整備効果	
全体 H19(2007) ~ R6(2024)	<b>【事業費=21億円】</b> 延長 3,050m 工事：橋梁 1 橋(106m) 用地：約 28,100m <sup>2</sup>		
前回再評価 まで (実績)	<b>【事業費=12億円】</b> ① 事業進捗率 57% (用地進捗率 94%) ② 用地取得面積約 24,900m <sup>2</sup> (面積ベース進捗率 89%) ③ 神戸加東線(L=970m) 平成 25 年 4 月供用		
過去 5 年間 H29(2016) ~ R3(2021)	<b>【事業費=7億円】</b> ① 事業進捗率 91% (用地進捗率 99%) ② 用地取得面積約 2,100m <sup>2</sup> (面積ベース進捗率 98%) ③ 小野藍本線(L=1,020m) 平成 31 年 3 月供用 ④ 松沢橋(仮称) 下部工完了、上部工着手	小野藍本線の現道拡幅部の供用により、安全で円滑な交通を確保。	
今後 3 年間 (予定) R4(2022) ~ R6(2024)	<b>【事業費=2億円】</b> ① 令和 4 年度 用地買収完了予定 ② 令和 6 年度 全線供用予定	通過交通がバイパスに転換することにより、現道沿い集落の生活環境が改善されるとともに、安全で円滑な交通を確保する。	

# 道路事業 主要地方道 小野藍本線・神戸加東線

## 位置図



## 目的

- ①安全で円滑な交通の確保
- ②安全な歩行者通行の確保
- ③地域間の交流・連携の促進

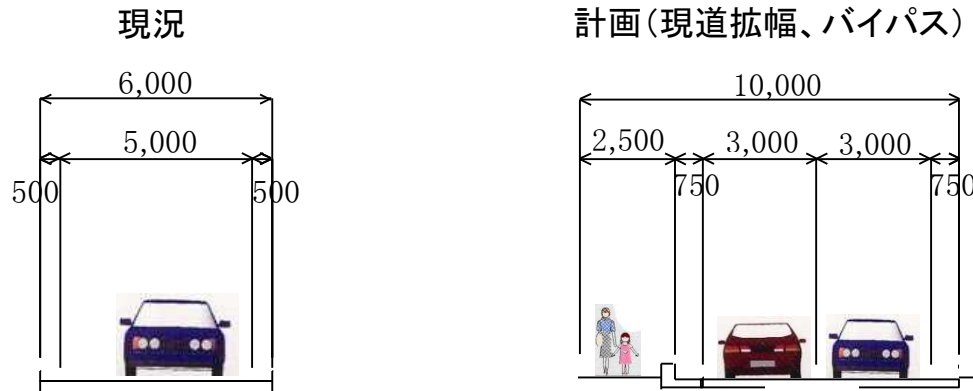
## 事業概要

事業区間：小野市池田町～加東市厚利、大畑  
 総事業費：21億円  
 内用地補償費：10億円  
 事業期間：平成19年度～令和6年度  
 事業概要：【構造規格】第3種第3級  
 【計画幅員】2車線  
 片側歩道2.5m 車道6.0m  
 [全幅10.0m]

延長：(全体) 3,050m  
 (主)小野藍本線 2,080m  
 (内整備済1,020m)  
 (主)神戸加東線 970m  
 (H25.4供用済)

費用便益比B/C: 1.8(残事業: 3.6)

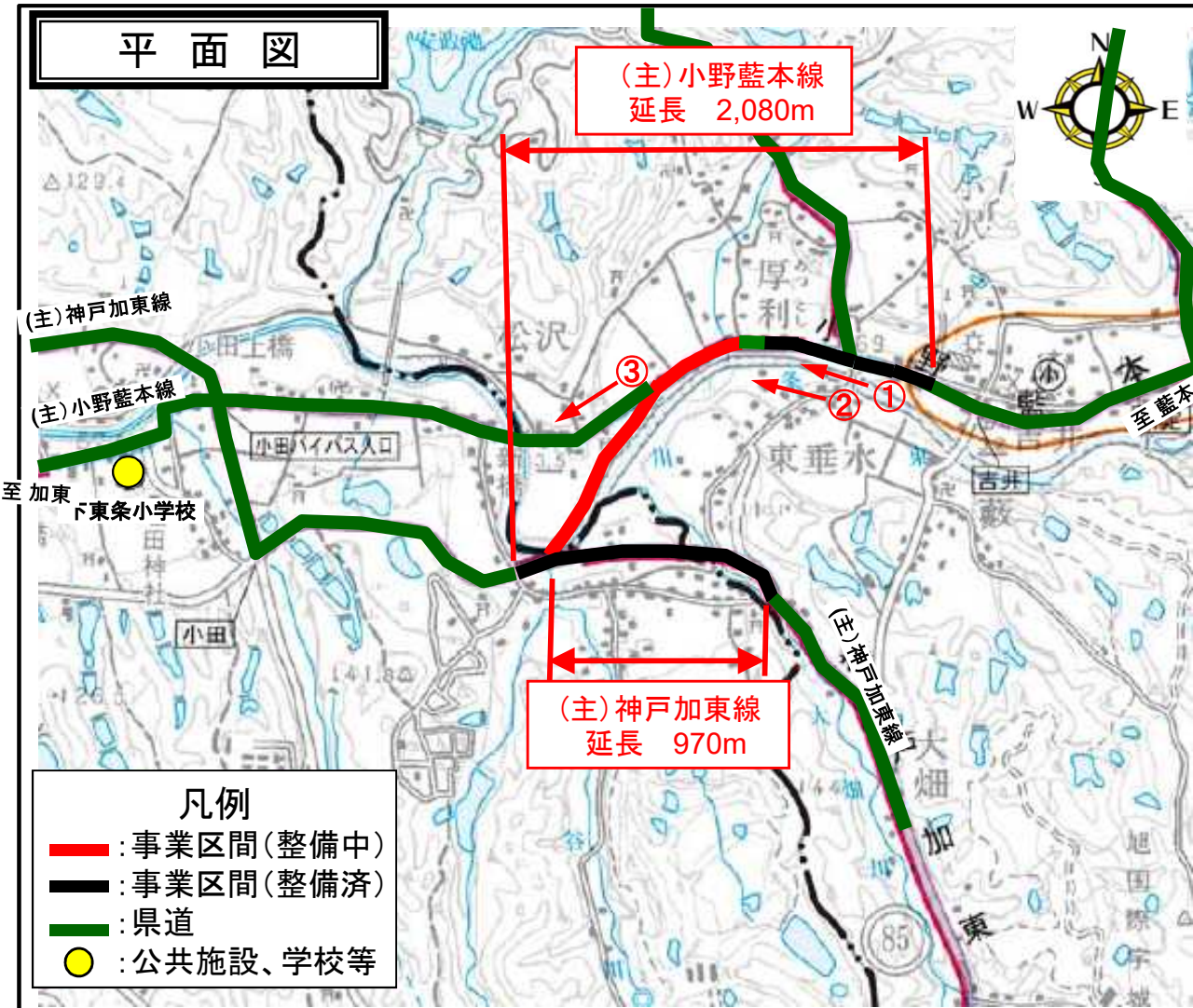
## 横断図



# 事業の必要性・優先性

- ①幅員狭小で離合が困難であるため、バイパス等の整備により、円滑な交通を確保する
- ②路肩も狭く危険な状態であるため、歩道を設置し歩行者の安全な通行を確保する
- ③北播磨地域と北摂地域を結ぶ小野藍本線と北播磨地域と神戸市を結ぶ神戸加東線を整備し、地域の交流・連携強化を促進する

## 平面図



### ①幅員が狭く離合が困難



### ②路肩が狭く歩行者が危険



### ③地域の交流・連携強化

